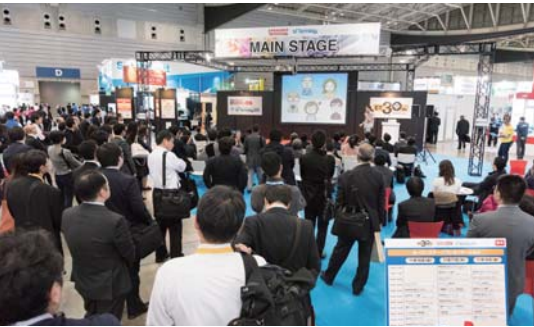




行うことが出来ました。皆で一つの目標に向かってアイディアを出しあったこの時が、後から考えると一番楽しかった気がします。組込みIoTハッカソンでは限られた時間内に、実際のサービス以外に説明資料やポスターを作るのですが、これがなかなか進まず大変でした。最後は何とか完成させることが出来ましたが、作業は深夜までかかりました。

今回初めて組込みIoTハッカソンに参加させて頂き、初めて触れる技術やアイディアを考えるための手法など、普段の業務では得られない知識や技術に触れることが出来ました。また、他チームの発表を聞いたり、普段なかなか機会のない他社の技術者と親睦を深め、色々な話を聞くことが出来たことは良い刺激となり、モチベーションを上げるきっかけになりました。また来年も参加させて頂き、今回よりも良い結果を得られるように頑張りたいと思います。

Team IoTSL (OTSL)



今回の組込みIoTハッカソンに対して、株式会社OTSLからは、「Team IoTSL」というチーム名で、酒井、秦野、渡邊の3名体制で参加させて頂きました。メンバーが決定し、まずは幾つかの事前講習会に参加させて頂きましたが、中でも慶應大学で開催された「デザイン思考ワークショップ」

プ」では、アイディアの出し方、収束のさせ方など、通常業務ではなかなか体験できない貴重なアプローチを勉強させて頂き、メンバー全員が刺激を受けたようです。こういう技術は本を読んだだけで身につけることは難しく、実践が大事と感じました。他の講習会でも講師の皆さんが丁寧に製品の解説をしてくださり、利用へのハードルを低くしていただきました。2名が名古屋勤務のため、事前の講習会参加も全メンバーで出席、とはいかない状況でしたが、おかげさまでモチベーションを高めて競技に参加することができました。講習会の講師の方々、および開催をサポートされた方々に御礼申し上げます。

次に準備段階ですが、本ハッカソンはテーマが直前まで決まらない形式でしたので、事前準備・打合せにあまり時間は取れなかったことも大きな障害とはならなかったと思います。(逆にテーマが決まっていると、業務時間を削って準備、となりかねないので、このスタイルが社会人には適していると思います。)

何をすればいいのか、ほとんど見えない状況で競技スタート、会社の打合せ室にて初日はブレインストーミング&コンセプト収束に集中し、翌日に設計&実装、という計画で挑みました。初日のアイディア出しでは、与えられた制約条件の数が多かったため全てを意識しておくことが難しかった、というのが正直な感想です。アイディアが収束してきて具体像ができつつあ

るときに制約条件に引っかかる、というケースが何度もあり、ブレインストーミングも制約条件が多いとコントロールが難しいと感じました。翌日の設計作業ではGSN、SysMLに慣れたメンバーがおらず作業が難航、プレゼン資料までは何とか作成したものの、発表のポイント整理等の段取り、準備まで手が回らない、という状況で発表日を迎えました。

発表本番ではプレゼンの準備不足が明確に出てしまい、提供するサービスの形は説明できたものの、誰がどう嬉しいのか、どのような独自の視点からシステムを考えたのか、といった点を十分アピールすることができませんでした。こういった形式でプレゼンが行われるのかについても情報を集めることができなかったためパワーポイント資料も用意しておらず、情報収集の努力を怠ったのも敗因の一つかと思っています。

今回、入賞はできませんでしたが、メンバーでアイディアを出し合い、実現イメージを築いていく、という作業は、意外と実践する機会は少なく、貴重な経験をさせて頂きました。数日という短期間で実施するためそのプロセスがより明確になる、というのもハッカソンのメリットかな、と思います。今回の失敗を次のチームに伝え、次回はより良い成果を挙げられるようサポートしたいと思います。

参加させて頂き、ありがとうございました。

第7回「JASAグローバルフォーラム2016」開催報告

～「タイ」にけるソフトウェア開発、IoTビジネス展開について～

国際委員会 委員
パナソニック 人材カンパニー 堀内俊文

2016年11月17日(木)、ET2016の併催セミナーとして「第7回JASAグローバルフォーラム2016」が、パシフィコ横浜アネックスホール2階にて開催されました。JASAグローバルフォーラムは、JASA国際委員会による、海外マーケット、海外企業

との協業をテーマとしたセッションです。今回は、「タイ」におけるソフトウェア開発、IoTビジネス展開をテーマに、現状報告と事例を交えた紹介がされました。以下に、講演者のご講演の概要を報告します。

【JASA国際委員長挨拶】

廣田 豊氏

TDIプロダクトソリューション株式会社
代表取締役社長

本年も多くの方にJASAグローバルフォーラムにご来場いただき、感謝申し上げます。例年はテーマに沿った複数の国のお話を聞いて頂いたが、今年の一つの国「タイ」をテーマに深く掘り下げるようにしてみました。タイには本年6月の国際委員会海外視察で訪問し、大変興味深い見聞をしたことが理由の一つです。



会場風景

【基調講演】

熟成期を迎えた日本企業の アジアビジネス戦略

増田 辰弘氏

NPO法人 アジア起業家村推進機構
アジア経営戦略研究所 所長



増田氏からは基調講演として、日本企業のアジア各国への進出状況を以下の7つの視点でお話頂きました。

1. 最近驚いた状況から見える日本企業のアジアビジネス
2. 最近の日本企業がアジアに進出する理由
3. ふたたび黄金期を迎える日本企業のアジアビジネス
4. 2010年問題で激変したアジアの投資環境
5. アジアビジネス地域の読み方
6. 日本企業の成長過程から見るアジアビジネス経営戦略
7. 新しいアジアでの新たな事業展開事例

【タイの現状報告】

1) タイのソフトウェア産業および デジタル・タイランド

Meetham Naranong氏

タイ ソフトウェア産業振興庁



Naranong氏からは、タイの概要とタイのICTの概要の説明がありました。

プーケット島をスマートシティ2020と題し、スマートシティ化のロードマップを示して、スマートヘルスケア、スマートガバナンスを推進しているとお話でした。

2) タイ国における、日系ソフトウェア 会社のビジネスチャンス

Wiwat Wongwarawipat氏

タイ インステップ グループ 代表



日本企業がタイに進出する場合、現地の人とのパートナーシップの強化と現地へのローカライズが大切と強調されました。タイでは、大学との連携で組込みシステムの教育も行われているとのこと。

タイ人の良さは、発想が自由でリスクを恐れないとお話もありました。

3) ソフトウェア事業とIoTビジネス のための投資インセンティブ

Vannipa Pipupchaiyasit氏

タイ投資委員会(BOI)投資促進オフィサー
シニアプロフェッショナルレベル



Vannipa氏は、1996年からタイ投資委員会(BOI)で仕事をされており、タイへの投資の促進活動についてお話を頂きました。BOIを通じてタイへ投資した会社は、最大8年間法人税を免除されるというメリットがあるとのことでした。

4) タイと日本におけるソフトウェア・ IoTの事業協力について

Chalermpon Punnotok氏

タイ CTアジア 最高経営責任者



Chalermpon氏は、タイで初めての寝たきり老人用の介護ロボット事業を成功させ、欧州、日本への進出を検討されているとお話でした。

この事業のNETPIEというサービスが、多種多様なIoT機器の接続を可能とし、スマートヘルス、さらにスマートファームの分野での発展が期待されるとのことでした。



パネルディスカッション

5) タイにおける組込みソフト開発ビジネスについて

伊藤 秀哉氏

豊田通商エレクトロニクスタイランド
(TTET) 社長

伊藤氏は、アメリカ赴任を経て2012年にタイへ赴任され、社員数212名のTTETの社長をされている方です。

TTETは、創業当初は車載用組込みソフトの検査工程のみを受託していたが、現在は設計以降の開発工程も受託しており、



客先のオンサイトも交え共同で業務を行っているそうです。

タイ人と日本人の親和性はよいと感じており、タイ人は、比較的日本流のソフトウェア開発になじみやすいとの感想を語

られていました。

【パネルディスカッション】

引き続き、モデレーターに司会の浅川氏、パネラーに5人の講演者で構成されるパネルディスカッションが実施されました。

講演視聴者からの質問に答える形式ですすめられ、タイにおけるロボットの可能性、プーケット、チェンマイに続くスマートシティの候補地、スマートファームの可能性、タイに進出した日本企業の失敗の要因等々、各々パネラーからの一歩踏み込んだお話を聞き出すことができました。

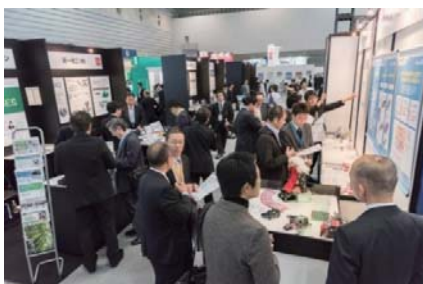
以上、タイという1国に絞って深く掘り下げるとい、初めての試みのフォーラムでありましたが、さまざまな方面からの講演者によるスピーチとパネルディスカッションは、大変有意義なものになったと思います。講演者の皆様、本フォーラムの関係各位に、心から感謝を申し上げます。(講演者の資料につきましては、JASA公式HP 国際委員会を参照願います。)

JASA特設パビリオン報告 設立30周年/ET30回記念事業として実施

ありがとう



「ET・IoT Technology展」では、設立30周年記念+ET30回開催記念事業として、「JASA特設パビリオン」が新設されました。新規出展を含めた会員企業総勢30社が参加し、各社の製品技術とソリューション等が展示・発表されました。また「OpenEL」



搭載ロボット、ETEC体験コーナー等協会活動と委員会紹介ブースも設けられ、一大パビリオンとして展開しました。

当委員会所属のJASAアイドルキャラクター「クミコ・ミライ」も会期中にわたり生出演し、パビリオンを盛り上げました。その華麗で斬新な容姿から会場内でも注目的、米EE TIMESに掲載される等話題となっています。

また、ETアワードとともに「JASA特別賞」を新設。業界振興を目的として、特に新規



出展や中小並びに中堅企業を対象に今回3製品が受賞しました。

今後も協会では、会員企業はじめ組込み関連でのビジネス機会創出、業界周知等の事業を展開していきますので、皆様の積極的なご支援ご参画をお願いいたします。

尚、「クミコ・ミライ」は、今後も協会/支部行事並びに会員イベントなど何処へでも派遣可能との事ですので、ご要望等あれば事務局までお問い合わせ下さい。